

第7次棚倉町振興計画策定のための各種団体等意見交換会
『たなぐらまちづくりトークカフェ』の記録

棚 倉 町

目 次

1	『たなぐらまちづくりトークカフェ』の概要	1
	(1) 実施目的	1
	(2) 実施内容・テーマ等	1
	(3) 参加団体・参加者	2
2	第1回：意見交換会の結果のまとめ	6
3	第2回：ワークショップの結果のまとめ	8
4	資料 第1回：意見交換会の内容（事前記入票より）	11
1	生活環境・基盤・産業分野グループ	11
	(1) 棚倉地区交通安全協会	11
	(2) 東西しらかわ農業協同組合	11
	(3) 棚倉町商工会青年部	12
	(4) 東白川郡森林組合	13
	(5) 棚倉町土木工友会	13
2	保健・医療・福祉分野グループ	14
	(1) 棚倉町社会福祉協議会	14
	(2) おひさまくらぶ	14
	(3) 東白川福社会	15
	(4) ドリーム&ホープ	16
	(5) 保健協力員	16
	(6) 棚倉町国民健康保険事業の運営に関する協議会	17
3	教育・文化分野グループ	18
	(1) 棚倉町PTA連絡協議会	18
	(2) 棚倉町校長会・園長会	18
	(3) 棚倉町社会教育委員会	19
	(4) 倉美館運営協会	20
	(5) 棚倉町スポーツ協会	20
	(6) 棚倉町スポーツ推進委員連絡協議会	21
4	移住者・若者・子育て世代グループ	22
5	高校生グループ	26

1 『たなぐらまちづくりトークカフェ』の概要

(1) 実施目的

町で活躍する各種団体（産業・教育・文化・福祉・まちづくり団体等）や一般公募者（移住者・若者・子育て世代等）グループ、高校生グループ等を対象とした意見交換会（第1回）とワークショップ（第2回）を行い、第7次振興計画に反映させるために実施しました。

(2) 実施内容・テーマ等

【第1回：意見交換会】（振興計画基本構想への反映を想定）

◆各種団体

- ①団体の現状と課題
- ②団体の活動状況と抱えている課題、そのために行政に望むことなど
- ③今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野において）
- ④今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点で）
- ⑤最後に一番言いたいこと一つ

◆一般公募者・高校生

- ①棚倉町の長所・自慢点（よいところ）
- ②棚倉町の短所・問題点（悪いところ）
- ③今後のまちづくりへの要望・提案（特に力を入れてほしいこと）
（最も興味のある分野で）
- ④今後のまちづくりへの要望・提案（特に力を入れてほしいこと）
（町全体の視点で）
- ⑤最後に一番言いたいこと一つ（高校生は自分が町長だったら行うこと一つ）

【第2回：ワークショップ】（振興計画基本計画への反映を想定）

◆各種団体・一般公募者

- ①各施策項目（28項目）ごとの「主な取り組み」（第7次振興計画で行うべき主な施策）の提案作成（ワークショップにより作成）

『たなぐらまちづくりトークカフェ』とは、従来型の座談会や懇談会、ワークショップの反省の視点に立ち（ざっくばらんな具体的な意見を発言しにくい、作業ばかりでいいことが言えない、結果・成果が反映されにくい等）、参加者が大勢の中でかしまった意見を述べたり、堅苦しい作業をしたりするのではなく、少人数のグループで、カフェでお茶を飲んでおしゃべりをするような気兼ねない雰囲気の中で、ざっくばらんな本音やアイデアを交換できる場、わきあいあいと作業できる場を提供するものです。

(3) 参加団体・参加者

グループ	開催日時	参加団体・参加者
1 生活環境・基盤・ 産業分野グループ	【第1回】 9月28日(木) 13:30~15:00 【第2回】 11月17日(金) 15:00~17:00 (第2回は以下同様)	(1) 棚倉地区交通安全協会
		(2) 東西しらかわ農業協同組合
		(3) 棚倉町商工会青年部
		(4) 東白川郡森林組合
		(5) 棚倉町土木工友会
2 保健・医療・福祉 分野グループ	【第1回】 9月29日(金) 13:30~15:00	(1) 棚倉町社会福祉協議会
		(2) おひさまくらぶ
		(3) 東白川福祉会
		(4) ドリーム&ホープ
		(5) 保健協力員
		(6) 棚倉町国民健康保険事業の運営に関する協議会
3 教育・文化分野 グループ	【第1回】 9月29日(金) 15:30~17:00	(1) 棚倉町PTA連絡協議会
		(2) 棚倉町校長会・園長会
		(3) 棚倉町社会教育委員会
		(4) 倉美館運営協会
		(5) 棚倉町スポーツ協会
		(6) 棚倉町スポーツ推進委員連絡協議会
4 移住者・若者・子 育て世代グループ (一般公募)	【第1回】 9月28日(木) 18:30~20:00	一般公募(移住者・若者・子育て世代) 6名
5 高校生グループ (県立修明高等学校)	【第1回】 9月28日(木) 15:30~17:00 (高校生は第1回のみ)	修明高等学校生徒(文理科・生産流通科・食品科学 科・地域資源科・情報ビジネス科) 6名

第1回：意見交換会

1 生活環境・基盤・産業分野グループ



2 保健・医療・福祉分野グループ



3 教育・文化分野グループ



4 移住者・若者・子育て世代グループ（一般公募）



5 高校生グループ



第2回：ワークショップ



2 第1回：意見交換会の結果のまとめ

グループごとの意見交換会の最後に、それまでの意見交換を踏まえ、参加者全員に、「最後に一番言いたいこと一つ（高校生は自分が町長だったら行うこと一つ）」をお聞きしました。その結果は、以下のとおりです。

【最後に一番言いたいこと一つ（高校生は自分が町長だったら行うこと一つ）】

グループ	参加団体・参加者	最後に一番言いたいこと一つ
1 生活環境・ 基盤・産業 分野グル ープ	(1) 棚倉地区交通安全協会	◆外部から人が来るイベントを行いたい。
	(2) 東西しらかわ農業協同組合	◆子どもたちにウエイトを置いた事業を展開してもらいたい。
	(3) 棚倉町商工会青年部	◆子どものイベントを増やしたい
	(4) 東白川郡森林組合	◆町外の人から来るイベントを企画してほしい。
	(5) 棚倉町土木工友会	◆外部の人が行ってみたい町にしてほしい。
2 保健・医 療・福祉分 野グループ	(1) 棚倉町社会福祉協議会	◆新たに協議を始めたことを実現したい。
	(2) おひさまくらぶ	◆大きな遊び場がほしい。
	(3) 東白川福祉会	◆若い人や家族が行ける場があればよい(介護保険ではなく)。
	(4) ドリーム&ホープ	◆医療、特に救急医療が重要である。
	(5) 保健協力員	◆健康なまちづくり、若い人を呼び込むまちづくり(子育て費用の軽減)。
	(6) 棚倉町国民健康保険事業の運営に関する協議会	◆在宅介護・在宅医療の充実。
3 教育・文化 分野グル ープ	(1) 棚倉町PTA連絡協議会	◆このような場(トークカフェ)を増やしてほしい。
	(2) 棚倉町校長会・園長会	◆教育を町全体で考える(コミュニティ・スクール等の充実)
	(3) 棚倉町社会教育委員会	◆若い人が安心して暮らし、外に出て行かず、ここで子どもを生んで育てられる町にしてほしい。
	(4) 倉美館運営協会	◆よりよい演目(倉美館)を提供したい。今後も町からの支援を。
	(5) 棚倉町スポーツ協会	◆魅力あるまちづくり。正式な運動公園がほしい。
	(6) 棚倉町スポーツ推進委員連絡協議会	◆色々な人の話を聞くことが大切である。

グループ	参加団体・参加者	最後に一番言いたいこと一つ
<p>4 移住者・若者・子育て世代グループ (一般公募)</p>	<p>一般公募（移住者・若者・子育て世代）6名</p>	◆町外の人が参加できる催し物を行ってほしい。
		◆子どもたちの未来を考えた町を考えてほしい。
		◆若者が出てきて活気ある町になればよい。
		◆子どもと子育てをする世代が、このあたりで一番住みやすい町にしてもらいたい。
		◆ルネサンス棚倉へのテコ入れを。
		◆城跡の有効活用を。
<p>5 高校生グループ</p>	<p>修明高等学校生徒（文理科・生産流通科・食品科学科・地域資源科・情報ビジネス科）6名</p>	◆町民の皆さんの意見を聞く機会を設ける。
		◆自然・城跡・神社等を合わせて観光客が来るようにアピールしていきたい。
		◆子育てを手伝うサービスをしっかり行う。
		◆大人と子どもが楽しめる写真スポットやおしゃれカフェをつくる。
		◆子どもたちの感性を高められる事業（お店・キャンプ場・高原さんぽロード等）を行う。
◆都市化を進める（自然を大切にしつつ若者が集まる事業）。		

3 第2回：ワークショップの結果のまとめ

ワークショップ方式で、グループごとに、暫定とした各施策項目（28項目）の「主な取り組み」（第7次振興計画で行うべき主な施策）の提案を作成していただきました。その結果は、以下のとおりです。

【各施策項目（28項目）の「主な取り組み」の提案】

分野（暫定）	施策項目（暫定）	「主な取り組み」の提案 （第7次振興計画で行うべき主な施策や具体的内容等）
1 生境環境・ 基盤・産業 分野	①消防・防災	■消防団員確保のための活動の見直し。
	②交通安全・防犯・消費者対策	■歩道やガードレールの整備。
	③環境保全	■太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーの導入。 ■脱炭素社会に向けた教育・啓発の充実。
	④ごみ処理	■ごみ分別の徹底の教育・啓発の充実。
	⑤上下水道	■下水道施設への未接続者の接続の促進。
	⑥公園・緑地	■子どもから大人まで遊べる大きな公園の整備。
	⑦土地利用・市街地整備	■時代変化に即した土地利用計画の見直し。
	⑧道路・公共交通	■街中の共有駐車場の整備。 ■自転車専用道路の整備。
	⑨住宅	■若者や子育て世帯向けの町営住宅の整備検討。
	⑩情報化・デジタル化	■誰もがデジタルを使えるような支援。
	⑪観光	■観光資源のネットワーク。 ■観光プロデュース力の向上。 ■「歴まち計画」の早期実現。
	⑫農林業	■特産品のPRの充実。 ■スマート農業の支援。 ■ふるさと納税の活用。
	⑬商工業	■商店街の空き店舗の再利用。
	⑭雇用	■「歴まち計画」などと連動した雇用を生み出す産業づくり（川越のような一大観光地として）。

分野（暫定）	施策項目（暫定）	「主な取り組み」の提案 （第7次振興計画で行うべき主な施策や具体的内容等）
2 保健・医療 福祉分野	⑮保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> ■在宅医療と在宅介護→医療の担い手不足。 ■障がいのある方が健診などを受ける際のボランティアがあるとよい。
	⑯高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> ■介護職の担い手への支援。 （定期的なイベントづくり（交流の場）、高校生が集まるカフェなどに介入して接点をつくる→担い手につながられる。中高生の受け入れ。介護を魅力的なものに）
	⑰障がい者支援	<ul style="list-style-type: none"> ■障がい者の特性についての町民への啓発。 （回覧板などで地域の人へ伝える。ひとくくりにして説明するのは難しい。雇用や就労支援につなげることができる）
	⑱地域福祉 （地域ぐるみで支え合い助け合う仕組みづくり）	<ul style="list-style-type: none"> ■地域サロン。 ■買い物などへ行った時の休み場がない→空き家を活用してのお茶飲み場を作る（ベンチなど休める場所）。 ■大きい公園（雨の日でも気にせず遊べる遊び場）。 ■給食の無償化。 ■オムツ券の上限をなくす。 ■マタニティ交流会・マタニティヨガ←子育て支援。
3 教育・文化 分野	⑲学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ■夢・志を育むキャリア教育の推進。 ■学習環境の整備・充実（設備・ICT等・人材）。 ■不登校に対する地域支援。 ■小・中学校の部活動支援。
	⑳生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ■修道館大学、チャレキッズ等生涯学習活動の充実。 ■廃校の活用。 ■青少年の健全育成に関する具体策の実施。
	㉑スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ■国際規格に合ったスポーツ施設の整備。 ■部活動指導者の支援。 ■クラブチームの支援。
	㉒文化芸術・文化財	<ul style="list-style-type: none"> ■文化団体の活動支援 ■指定文化財の保護・保存

分野（暫定）	施策項目（暫定）	「主な取り組み」の提案 （第7次振興計画で行うべき主な施策や具体的内容等）
4 子育て支援・移住分野	㉓子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ■保育料の免除。 ■子どもの遊び場（居場所づくり）。 ■小児科がほしい（病児保育）。 ■出産費用の支援。
	㉔移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ■町のPR（全国へ）の推進。 ■ネット環境の充実。 ■移住者への支援金の充実。
5 協働・交流・行財政分野	㉕町民参画・協働、地域コミュニティ活動	<ul style="list-style-type: none"> ■コロナ後、地域コミュニティ減→対策が必要。 ■町関係団体のPR。 ■気軽に話せるコミュニティの実施
	㉖男女共同参画	<ul style="list-style-type: none"> ■ジェンダーフリー→家庭の中での家事分担も必要（男女関係なく）。
	㉗交流	<ul style="list-style-type: none"> ■やることが目的になっている。何のためなのか目的を明確に。 ■企業との交流。 ■他の市町村とイベントの開催・出店等で交流。 ■たなぐら応援大使の活動。
	㉘行財政	<ul style="list-style-type: none"> ■体育館の利用料金を他の町と一緒に（他の町より棚倉は高い）。 ■たなちゃんのぬいぐるみを作成して販売する。

4 資料 第1回：意見交換会の内容（事前記入票より）

1 生活環境・基盤・産業分野グループ

（1）棚倉地区交通安全協会

【団体等の現状と課題】

- 地区の人口減少。高齢者の免許返納等による会員の減少。
- 年4回の交通安全運動（春・夏・秋・年末年始）に対する奉仕活動の重責と負担で、会員が年々減少。
- 上記会員減少に伴う協会収入減少により活動費の圧迫。
- 魅力ある協会づくりで会員増強をしているが、行政から活動上の支援・助言をいただきたいと思う。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 地域の安全・安心の観点で、より多くの町民の参加。
- 防犯・交通安全の啓発活動をより以上協議する場をつくる。
- 異常気候での災害発生リスクから、全町あがての防災訓練の実施。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 人口減少・過疎化の対策。
 - 若者がいきいきと就労できる職場・事業所の創生。
 - 高齢者の憩いの場の設置。
 - 児童・生徒の学力向上。
- ※児童・生徒へのチャレキッズは大絶賛である。。

（2）東西しらかわ農業協同組合

【団体等の現状と課題】

- 営農分野において、担い手支援担当としてTAC（営農経済渉外員）を配置し、地域農業担い手への訪問活動強化に取り組んでいる。
- 農業者人口は、高齢化や担い手・後継者不足により激減し、耕作放棄地が増加している。近年は震災・原発事故からの復興と風評被害払拭に様々な事業展開を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の発生やロシアのウクライナ侵攻に伴い、インバウンド需要の低迷と原油・原料あらゆる生産資材、飼料等が高騰し、生産コストが上がり農業経営を逼迫し農業者の生産意欲が減退している。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 新規就農者や農業従事者の確保のための施策と希望者への農地や住まいの提供等の仕組みづくりを関係機関と連携して、いち早く進めてほしい。
- 農業用機械・資材等が高騰し、高止まりしている中、機械導入や資材等購入費への助成事業を検討してほしい。
- 関係機関と連携した町の特産品や新たな品目の検討を進め、6次化商品の開発も検討してほしい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- スポーツ分野強化：スポーツまたは体を動かせる場所・施設が足りていないと感じる。運動能力も低下している。スポーツ人口が増えれば食分野の発展も促せる。
- 子育てに関するサポート・助成強化：他市町村に比べて町の取り組みは進んでいないように感じる。子育て世帯へのサポート・助成をもっと強化してほしい。

（3）棚倉町商工会青年部

【団体等の現状と課題】

- 青年部活動を通して地域の振興・発展に取り組んでいる。
- 町内ボランティア（ごみ拾い）。
- 棚フォト青年部（インスタグラムを使いフォトコンテスト。棚倉を支えるお店や会社の魅力の発信）。
- イルミネーションの設置。
- 献血運動。
- 課題は部員の確保。現在部員 30 名。20 代の部員が少ない。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- スポーツでまちづくり。
 - ・トライアスロン、マラソン大会、ロードレース。
 - ・県や全国大会でも選ばれる専門施設。
 - ・県外からも人が集まるイベントの開催、町の活性化。
- スポーツジム。
 - ・子どもから大人まで体を動かせる施設。
 - ・健康な心と体。
 - ・スポーツを通じて、町民の交流。
 - ・高齢者の介護予防、子どもの成長促進。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 過疎化、少子高齢化、空き家、商店等の閉鎖、Uターン・Iターン就職者への優遇・家賃補助。
- 空き家を使った起業支援。
- 子育て支援。

（４）東白川郡森林組合

【団体等の現状と課題】

- 森林整備の作業に従事する若い担い手が不足している。業務内容の大変さに比べ賃金が少ないという理由はわかっているが、変わっていく様子はない。企業努力でどうにかするべきだとは思いますが、改善するよりは現状維持を目的としているように見受けられる。このままでいいものだろうか。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 棚倉町には産業がないというが、働くところはある。大きな会社もある。働く場所はあるが、人が足りない。林業にしても、どのように人を確保するかが問題である。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 少子化対策、子ども・子育て支援にお金を使ってほしい。

（５）棚倉町土木工友会

【団体等の現状と課題】

- 当団体は建設業を主体とする団体である。
- 課題
 - ・慢性的な人手不足。
 - ・社員の高齢化。
 - ・働き方改革による労働時間の見直し。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 町活性化を目的としたアクセスの整備。
- 町住民の安全を目的として治山事業の推進。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 町活性化の一環として、外部からの集客も重要になると考える。
- 山本公園の観光地の整備。
- 町単位でのイベントの開催。

2 保健・医療・福祉分野グループ

(1) 棚倉町社会福祉協議会

【団体等の現状と課題】

- 住民基本台帳上の独居や高齢者世帯の情報をもとに名簿等を作成しているが、実情の件数の把握が難しい（例：息子との2人世帯だが実際は独居状態など）。
- 近隣住民との関わりが少なく助け合いが少なくなっている。
- 緊急時の対応について
→身寄りがいない、親族が近くにいないなどの理由で社協で対応せざるを得ない時があり、ここ数年で増えている印象。緊急カードの活用を進めている。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 高齢者などが気軽に通える場所づくり
→休憩スペースや無料でお茶を飲める場所など。棚倉町協議体（ひなたぼっこ）で今年度中に開催を検討している。
- 在宅医療の担い手（往診してくれる病院など）。
- 買い物や通院などの移動手段
→町からタクシー券が配布されているが、一律の枚数だと地区によってはすぐに使い終わってしまうとの声も聞かれる。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 子ども達が安心して満足するほど遊べる場所づくり
→広い場所で走り回れて大きな遊具でたくさん遊べるような工夫。幅広い年齢で楽しく過ごせるようなところがあるとよい。

(2) おひさまくらぶ

【団体等の現状と課題】

- 課題→入会数の減少と停滞。
- 望むこと→年会費を無料にしたい。そのために助成金を10万円から13万円くらいにしてほしい（無料にすれば入会数増えるかも）。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 子育てしやすい町にすること。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 幼稚園・小学校の給食無償化。
- おむつ券を3歳くらいまで。
- 室内の大きい遊び場がほしい（土日も空いてる）（室内砂場）。西郷キッズランド、喜多方のめぐみプラザ等のような施設。
- 高野の体育館を自由に使えるように。
- もっと外から人が来てくれるような魅力的な棚倉町に。ルネサンスに温泉があるなら食事可能に。

（3）東白川福祉会

【団体等の現状と課題】

- 介護職員の入職者が減少しているため、在宅サービスの事業の安定化が図れない。特に訪問介護の担い手が少ない。
- 要支援者などの軽度高齢者に対する福祉サービスの充実を図ることで、介護保険サービスと町独自サービスとのすみわけができ、要介護者への支援が手厚くできるのではないかと考えている。
- 介護保険申請後、すみやかな対応や情報提供を図ることで、重度化しない対策を望む。
- コロナの影響もありボランティアの訪問が減少し、地域が目・声で育てていただく機会が減少している。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- ボランティア活動支援（認知症サポーター）。
- 介護職の担い手への支援（教室・知識・発掘）。
- 在宅サービスの充実。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 若い世帯が住んでくれ、町内の企業に就職してくれる。
- それぞれの世代で得意分野を生かした活動の創出。
- 地域で行われる活動に参加するきっかけの作り方の手立て。
- 現在の資源と場所を活用し、定期的に人が集まるイベントづくり。

(4) ドリーム&ホープ

【団体等の現状と課題】

- 事業所宣伝の機会やひきこもり者の事業所利用につなげる機会があればよいと思う。
- 8050（親 80 歳・子 50 歳）問題が課題になっている。高齢の親が障がいを持つ子を擁護することが難しくなっている。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 災害時の要支援者（要配慮者）について具体的な避難について（事業所発信・行政区発信）少なくとも半年に1回程度の家族状況確認とその後の対応について協議する機会があれば在宅生活が安心して送れると思う。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 町中の活性化がより図れてくるとよいと思う。文化センターや図書館だけでなく、商工会等と協力しての行事（ひなまつり・文化祭等）展示等。

(5) 保健協力員

【団体等の現状と課題】

- 地区保健協力員さんとの交流。
- サロンの充実と子育て世代との交流。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 商店街の活性化→空き店舗・空き家の活用。歩いて買い物に出かけ、一休みしておしゃべりのできる場所（年齢を問わずに立ち寄りができる）がほしい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 資料館（棚倉町の歴史がわかる）、公園、プール、福祉施設の充実・増設。ルネサンスの利用。
- 棚倉駅舎の利用と階段をのぼらなくても乗車できるようにする。
- 子どもたちの食育の充実（給食費の無料化）。

（６）棚倉町国民健康保険事業の運営に関する協議会

【団体等の現状と課題】

- 法令等に基づき設置された国民健康保険の運営に関して意見の交換や調査・審議・町長への具申等を行う協議会で、現行年２回程度開催。
- 国保条例、国保税条例、国保事業計画等の審議が主な内容。
- 国保加入者は年齢や医療費水準が高く所得水準が低いという構造的な問題がある。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 生産年齢人口の減少が進み、担い手不足が懸念される。
- 人口減少に伴い、医療体制の質・量の低下が予想される。その対応策が必要。
- 在宅医療・在宅介護体制の充実。
- 健康づくりの政策が求めるものは何か。健康でなくなった時の対策を政策化できないだろうか。
- 保健・医療・衛生・福祉・保険・スポーツ等、様々な分野で健康に関する対策が進められているが、事業が単発で縦割り行政に陥っていないか。連携・一体化の対応を進めてほしい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 少子高齢化については、少子化と高齢化の問題を別にして対策を立てるべき。
- 政策のバランスを重視するのか、政策の重点化を重視するのかは十分に考慮してほしい。

3 教育・文化分野グループ

(1) 棚倉町PTA連絡協議会

【団体等の現状と課題】

- コロナ禍を経て、活動内容が精選された一方で、活動そのものが新しくならず鈍化している面がある。
- PTA活動を通じた、家庭での教育力を充実させる考え方や活動そのものを、皆で知恵を出しながら推進していきたい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 地域で（少なくなってきたと言えど）今後の担い手である子どもたちと共働・共生する活動、大人とのふれあいの場、接点が必要である。行事・活動の企画・運営と、ともに喜び認め合う場を創出していく。
- スポーツ・文化・互々に関心のある子どもたちを町の仕組み（スポーツ団体）の中で技術力・人間力を高めていけるようにすることがSDGsの観点からも求められる。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 幼・小・中に送迎する保護者が増えている。周辺に駐車場を整備してほしい。

(2) 棚倉町校長会・園長会

【団体等の現状と課題】

- 年々児童生徒数が減少している。それぞれの学校の規模も小さくなってきている。
- 児童生徒数の減少に反して、特別支援的配慮が必要な児童生徒、家庭環境への支援が必要な児童生徒は増加している。教員は様々な対応に追われ、苦慮している。
- スポーツ少年団等地域の社会体育が活発になってきているが、現在も学校で、特設クラブや部活動などの指導に関わっている。部活動の地域移行が叫ばれているが、なかなか難しい現状である。小学校の特設クラブにおいても他地域によっては移行が進んでいるところもある。教員が指導にあたるが、異動もあり、継続した指導が難しい。また、専門的な指導ができる教員が必ずしもいるとは限らない。継続的・一貫的な指導ができる組織のあり方を検討する必要がある。

- 大型スポーツ施設（全天候型 400mトラック等）がなく、白河陸上競技場まで練習に行くことが多い。また、町民プールも現在は無い。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 若い世代が住みやすい環境を整えてほしい（企業の誘致、教育・子育て環境の充実等）。
- 多様な課題に対応できるよう、町雇用の職員を学校に配置してほしい。例えば、特別支援員の配置を増やす。用務員・給食配膳員・学校司書等の常勤的な配置、勤務内容の拡充（勤務時間を増やす。外務ができるなど）を図る。教育予算を増やすなど。
- 町として、統合型スポーツクラブ・文化クラブをつくり、指導者を登録する。指導者が定期的に学校を訪問し、指導にあたる。
- ルネサンス棚倉や総合体育館・グラウンドなど連携を図りながら、町民が安い料金で、使いやすい大型スポーツ施設があるとよい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 空き家が多くなってきているので、様々な対策が必要である。
- 町内に眼科がないので、眼下に関する医療機関があるとよい。

（3）棚倉町社会教育委員会

【団体等の現状と課題】

- 委員会は12名で構成されており、女性委員は6名。
- 年3回、委員会を開催し、社会教育関係事業の計画について審議・検討・評価を実施。
- 社会教育団体構成員の高齢化に伴う後継者問題（団体の解散など）。
- 新規加入者少ない。
- 既存の団体への加入にはハードルが高い。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 活動をしている人たちの高齢化が進み、近い将来参加する方々の交通手段が確保できなくなるため、地域交通の確保が必要。
- 社会の変化に対応した学習機会の提供。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 生活の安定が確保できるよう雇用の推進、企業誘致など働く場所の確保。

(4) 倉美館運営協会

【団体等の現状と課題】

○ 活動状況

町予算を得て、事務局のもとボランティアである運営協会員が音楽や古典などの部会に所属し、幅広い年齢層に向けて事業を選出し、公演時はスタッフとしても活動している。

○ 課題・望むこと

- ・20歳～30歳代のメンバーが少なく公演選定の意見が得にくい。
- ・演者やお客様への対応に対し講習を受けたい。
- ・チケット予約のシステム化。
- ・会館ホームページの開設。
- ・職員の移動により、機器等の操作や事務、公演業務に支障が出る年度があり、総移動はなるべく行わないでほしい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 歴史文化基本構想にあるように、町には多くの文化財や史跡が点在している。見て・ふれて・考える機会を増やし、特に子どもたちにはテストのための暗記の歴史ではない学びを得てもらいたい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

○ 施設としての不足

- ・特養の拡充。
- ・親と子が利用できるフリースペース。
- ・飲食ができる・予約なしの会議スペース。
- ・町内循環バス。

(5) 棚倉町スポーツ協会

【団体等の現状と課題】

- 急激な人口減少に伴い、各種スポーツ競技人口も減少しており、それに伴い協会加盟の団体数・種目数も減少している。そのため、町民が様々なスポーツに気軽に取り組める環境の整備が課題となっている。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 大型のスポーツ施設がほしい。他の市町村には、必ずといってよいほどしっかりと運動公園がある。棚倉でできないのであれば、広域で確保してほしい（ルネサンス棚倉の周辺が一番よいが）。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 山本の奥の方では、長男や跡取りが家を出て、ほかの場所に家を建てている人が多い。戻って来なかったら年寄りだけになってしまう。このようなことも町として考えてほしい。若者が郡山や白河へ出て行ってしまう。人口は減っているのに世帯は増えている。10年後・20年後のことも町は考えてもらいたい。

（6）棚倉町スポーツ推進委員連絡協議会

【団体等の現状と課題】

- 委員会・研修で参加者がいつも同じような顔ぶれである。参加できないのであれば推進委員を引き受けるべきではない。

【今後のまちづくりへの要望・提案（専門分野に関して）】

- 参画意識に欠けている。各分野で一度話し合いをしてはどうか。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点から）】

- 老若男女の集まりに欠けているのでは。同じ年代の集まりが多く、若い人の意見も聞いてみたい。

4 移住者・若者・子育て世代グループ

一般公募（移住者・若者・子育て世代） 6名

【棚倉町の長所・自慢点】

- 都々古別三社がある。
- 県南のみならず、全国的にも肩を並べる神社仏閣が多く、歴史がある。
- 都会の喧騒から離れてゆっくりリラックスできる場所。
- 古くからの人情深さがある（根深い地元づきあい）。
- 自然豊かで、歴史も深く、そのような場所、神社仏閣が多い。
- お祭りなど町で取り組むイベントなども盛んである。
- ルネサンス棚倉やキャリア教育など、他では取り入れてない新しいことにも着手している。
- 明るくのんびりした町の雰囲気がある。
- 自然豊か。町民がやさしく温かい。
- 自然豊かなところ。
- スーパーやドラッグストア、ホームセンター等があり、日用品の買い物に不便がないところ。
- 歴史的な建造物や文化的な遺産が多い。
- 四季折々の風景が楽しめる。
- 地域イベントや祭りがあり、交流の場がある。
- 棚倉城跡を代表に歴史と文化にあふれる城下町であるところ。
- 山本不動尊、ルネサンス等観光客を呼べる観光地としての手札はたくさんある。
- 東北の小京都。

【棚倉町の短所・問題点】

- 子どもへの補助がうすい。特に新生児・乳児。
- 古くからの人情深さがありすぎて、外部からアイデア、新規のアイデアを取り入れにくいと感じる。
- 行動力・実行力・スピードが遅いと思う。周囲を気にしてるのか。
- 遊び場が足りない。
- ルネサンスの経営。町はもっと発言するとか。またまだ足りない。
- 利便性が悪く、買い物など、ことが足りないことがある。
- 頑張ってはいると思うが、町の大通りがすたれてしまい閉まっている店も多く活気がない。
- 働き場所が少なく、若者の人口流出、町の人口減少が心配である。

- 町の重要文化財、神社仏閣の整備などが足りていない。
- 学校の統合など、子どもたちが育ちやすい環境が整っているのか。高齢者の集まれる場所・施設、介護している家庭などへのフォローが足りているのか。
- 観光客を誘致できるようなまちづくりがされているのか。
- 財政難も心配である。
- 子どもが遊べる場所が少ない。公園など。
- 交通が不便。
- 運動施設が少ない。
- 何もないので休日になると町外に出かける。
- 子どもを遊ばせる屋内施設やプールがない。
- 春・夏・秋と祭り等のイベントはあるが、広く町外から人の集まるイベントがない。
- 保育園の選択肢がない。
- 子どもが遊べる公園が少ない。
- 中心部の空き店舗が目立つ。
- 交通アクセスが悪い。
- 小京都感が薄れている。
- このような長所がありながら、それをまったくといってよいほど生かしていない。中途半端なところも多く、せっかく来た観光客ががっかりして帰ることになる。

【今後のまちづくりへの要望・提案（最も興味のある分野で）】

- 遊び
 - ・子どもを育てていく環境に力を入れてほしい（遊び場）。
 - ・公園（外）→鶴子山公園、関の森、やすらぎの里（常陸大宮市）。
 - ・公園（内）→東白川郡にはない（プール、都市公園、室内公園）。
- 学費
 - ・幼稚園から無料だが、その前にお金がかかる。3歳まで保育園料が高い。実家庭で第3子から無料とか。3歳離れても安心。
- 活気があり、人の集まる町にするためには、どれか一つばかりに力を入れても変化も伸びもないと思う。皆さんでトータル的に考えて、改革していくべきだと思う。
- 塙町は給食が無料と聞いた。棚倉も給食無償化はできないのか。
- 子どもたちが遊べる屋内施設やプールがない点や、既存の施設（なかよし公園等）の整備に力を入れていただきたい。
- 観光協会を独立した組織にする。観光分野だけではなく、ルネサンスの管理的な役割を与える。

- 地域おこし協力隊の採用を積極的に行う。西会津町などはよいモデルケースになると思う。
- 若い人がおためしでお店を出せる場所をつくる。商店街連合会などと連携を取り、空き店舗を使えるようにする。
- 長い時間をかけてもよいので、とにかく町のメリットを生かして観光業の発展をしてほしい。素晴らしいメリットをそのまま生殺ししているのは大変もったいない。商店が廃れてしまってきていることは大変申し訳ないが、町とタッグを組んで棚倉町を将来県でトップクラスの商店街、観光街、人のあふれる町にしたい。

【今後のまちづくりへの要望・提案（町全体の視点で）】

- 第3セクターの見直し。令和8年までの契約なら今から別企業を探すなど、できないのであれば、細やかな数字を町民に開示し、目安箱など匿名でも意見を。年8千万円以上の投入はどうか。
- 町遺産を集め、県内外に広める（食、歴史文化、方言、話・神話、昔話、言い伝え、人、100年企業）。
- 住みやすく、人が集まってくるまちづくり。
 - ・医療体制の充実。
 - ・若い世代・家族が住みやすく、サポートの得られる環境。
 - ・生まれ、住み慣れた町が好きと感じる、幸福度を得られるような町。
 - ・Iターン・Uターン者の増えるシステムづくり。
 - ・古き良き文化を大切にし、もっとアピールしていく。
- 新しい世代のアイデア、提案、チャレンジを生かしていく。
- キッズパークなどの施設。子どもにやさしいまちづくり。
- 広場はあるが公園に遊具が少ない。
- 運動不足解消のためにも施設を増やしてほしい。
- 夜に外食しようと思っても、子どもを連れて一緒に行ける店が少ないので町外に出てしまう。チェーン店が増えればよいと思う。
- 子どもたちにとってより住みやすいよい町となることが、子育て世代からの評価を受け、“住みたい町”と思ってもらえるよう、子どもの教育・福祉に力を入れていただきたい。
- 他市町村の家族が遊びに来る施設をつくる。新たな施設をつくるのは予算の関係で難しい。ルネサンスの施設をリニューアルすることで誘客が見込まれる。現状、赤字が続き、町から数千万円補助している。しかし、黒字にするための新たな事業など取り組む様子がない。町が積極的に子どもが遊べるようにしてほしい。必ずお金を落としていくに違いない。喜多方市や矢吹町などの事例を参考にしてほしい。

- トレーニング室の充実。
- 役場と商店、商工業・商工会が手を取り合えば、棚倉町でできないことは何もないと思う。ぶつかるところはお金の問題だけで、すべて地元で解決できる。

5 高校生グループ

修明高等学校生徒（文理科・生産流通科・食品科学科・地域資源科・情報ビジネス科）6名

【棚倉町のよいところ】

- 「いってらっしゃい」や「気を付けてね」、「おかえりなさい」など、声をかけてくださる方がたくさんいること。
- 国の史跡がある。
- スポーツができる施設が整っている。
- 年齢に関係なく人と人とのかかわりが多い。
- 自然が多い。
- 田んぼや畑が多い。
- 城跡がある。
- 電車がある。
- あいさつしてくれる。
- 自然豊か。
- 町の人達がやさしい。
- ブルーベリージャム、ジュース。
- 自然がある。
- 空気がきれい。
- 町の人たちがやさしい。
- 犯罪が少ない。
- 自然が豊か。
- 城跡。
- みんなやさしい。

【棚倉町の悪いところ】

- 歩道が歩きにくくなっているところ。
- 交通手段が少ない。
- 観光地の整備が足りない。
- 商店街がシャッター街になっている。
- 夜が暗い（街灯）。
- 電車の本数が少ない。
- 遊ぶところが少ない。
- 歩いて通っているが、歩道や草木の問題がある。
- カフェなどのお店が少ない。

- 歩道の草などが整備されていない。
- ポイ捨てが多い。
- 狭い歩道の拡大。
- 雑草の整備。
- 青信号の点滅時間の延長（歩道）。
- 若者に刺さるような場所が少ない。
- 若者が少ない。
- 月曜日休みの場所が多い。

【今後のまちづくりで特に力を入れてほしいこと（最も興味のある分野で）】

- 城跡の整備。
- 道の雑草。
- 誰もが使える移動手段を増やしてほしい。
- 田んぼや畑は多いが耕作放棄地が多い。
- 運動できる場所を増やしてほしい。
- 遊べるような場所を増やす。
- 道路の整備。

【今後のまちづくりで特に力を入れてほしいこと（町全体の視点で）】

- 町の高齢化が進んでいたり、人口が減少していることに対しての人の呼び込み（観光客も含めて）。
- 「東北の小京都」としてのまちづくりのために、外観や名産品に力を入れてほしい。
- 耕作放棄地が多いので、何かの形で活用してほしい。
- 遊べる場所を増やしてもらい、子どもや大人が楽しめるようにしてほしい。
- 町の活性化に努めるには、町外の方々が棚倉町に来てもらうより町内の方々の生活が豊かになることが最も重要だと思う。少子高齢化が進む今、若い人たちがより楽しめるお店や写真スポットなど作ってみるのはどうか。
- 若者を集められるようなことをする。
- ルネサンス＝棚倉にしよう。
- 子育てしやすい環境を整える。